



奉仕の精神を大事にして継続性のある 楽しく充実したロータリー活動の実践を！

ロータリー月間

第2090回例会 2021.11.15

会長／田中 寛 幹事／田中靖彦
副会長／山地久守 会報／長澤好太郎
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／それでこそロータリー

会長挨拶

田中 寛会長

 昨日である11月14日(日)に、ようやく当クラブの田中年度第1回ゴルフコンペが開催できました。参加していただいた会員の皆様は、大変お疲れさまでした。当クラブの懇親ゴルフは、新型コロナウィルス流行の影響で、長い間延期になっていましたので、内心ほつとしています。本年度の当クラブのスローガンを、楽しく充実したロータリー活動の実現としていますので、毎回の例会の充実はもちろん大事ですが、やはりゴルフ等のスポーツやその他のレクレーションの実施及び夜間例会を含む懇親会の実施等をすることによって、当クラブ会員相互の交流をはかり、心を一つにして、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕等の各活動を、当クラブの会員が全員で協力して実行していくことで、楽しく充実したロータリー活動の実現につながるのではないかと思います。また、そのことが、クラブの活性化につながり、本年度の重点目標の一つである会員増強及び女性会員増にもつながるのではないかと考えています。これから重点目標の実現に向けて、全力で取り組んでいきたいと思いますので、会員の皆様の全面的なご協力をお願い致します。

幹事報告

田中靖彦幹事



1 NPO法人 エコキャップ推進委員会よりお礼
宮崎南ロータリークラブが発送した11月9日受領分のエコキャップ

出席委員会報告

中武照利委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況		
会員数	(46)	48名	メークアップ数	0名
本日欠席者数	19名	修正出席率	70.21%	
本日出席者数	29名	メークアップされた方		
出席率	63.04%			

ニコニコ BOX	1件 累計	2,000円 53,000円
-------------	----------	-------------------

募金箱	4,926円 累計	60,365円
-----	--------------	---------

11,610個に対してお礼の受領書が届きました。
(11,610個=27.0Kgになります)

ちなみに発送累計個数は、235,554個になっております。

2 来週例会（11/22開催例会）は会場西館1F
はな花にて例会開催となります。

ニコニコBOX

川村雅宣会員



南ロータリー第1回田中会長杯で優勝してしまいました。

本日のプログラム

会員卓話

開地俊昭会員



皆さんこんにちは、日頃皆さん
ニュース等で脱炭素社会というキーワードの中でよく聞く言葉の中で、
あまり理解しづらい言葉の話をさせていただきます。

再生可能エネルギーというくくりの中でFIT電気という言葉が出てきますがこれは再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス等）でつくられた電気の中には、国の固定価格買取制度（FIT）にもとづいて、一定の価格で買い取られているものがあります。こうして買い取られた電気のことをFIT電気と言います。

このFIT電気の買い取りコストは、国民（需要家）の皆さんのお支払いに含まれる「再生可能エネルギー発電促進賦課金」によってまかなわれています。

先ほどの説明の中で出てくる再生可能エネルギー発電促進賦課金とは

- ・国の制度に基づき皆様にご請求させていただくものです。
- ・単価は1年毎に見直され、変更されます。
- ・再エネ賦課金の単価は、全国一律の単価になるよう調整を行います。
- ・電気を使うすべての方にご負担いただくものです。
- ・ご負担額は電気の使用量に比例します。
- ・電気料金の一部となっています。

お客様にお支払いいただいた再エネ賦課金は、電気事業者がコストの高い再生可能エネルギーで発電される電気を買い取るための費用となり、最終的には再生可能エネルギーの発電設備の投資回収に充てられます。

再エネ賦課金の単価は、買取価格等をもとに年間でどのくらい再生可能エネルギーが導入されるかを推測し、毎年度経済産業大臣が決めます。なお、推測値と実績値の差分については、翌々年度の再エネ賦課金単価で調整します。

このような言葉に意味をきちんと理解され、どのような仕組みになってるのかご理解いただければ幸いです。

高木一郎会員



なぜ、キャビアは高いのか
キャビアがギフトとして喜ばれる理由
その理由は『手間と時間』です。

世界におけるキャビアの流通は、その90%が養殖とされています。(2020年 世界自然保護基金調べ)ロシアがまだ、ソビエト連邦だったころはキャビア漁業が乱獲に陥らないように厳しい管理をしていましたが、ソビエト連邦の崩壊後のロシアではチョウザメ資源の管理体制が崩壊し闇市場での流通が激増しました。その結果としてカスピ海産のキャビアの国際取引はワシントン条約によって当面禁止に追い込まれたことがキャビアの養殖に拍車を掛けました。

「養殖なのに高い!」と言われそうですが、実は養殖だからこそその苦労もあるわけです。それが『手間と時間』なんです。キャビアの親であるチョウザメは稚魚から養殖は始まります。当然ながらキャビアは雌のチョウザメから採卵されるのですが、ナント!? 稚魚の段階から約3年

が経過しないと雌雄の区別ができないのです。しかも場合によっては、その年の稚魚がすべて雄だったなんてこともあります。この間の3年という月日にも、エサ代などの経費は掛かるのです。

チョウザメの稚魚を雌雄が識別できるまでの約3年、諸経費を掛けながらチョウザメを大目に育てていくのですが、更に7年~10年という長い歳月を要して初めてキャビアの採卵まで漕ぎつけるのです。また、チョウザメは大変、デリケートな魚なので育成にも相当な手間を必要とします。

チョウザメから採卵してキャビアへと加工するのですが、その全てが手作業なのです。チョウザメの卵は繊細で壊れやすく機械に頼ることができないからです。

チョウザメから採卵された卵巣を人の手で丁寧に一粒ずつほぐしていきます。選別作業の後、ルーペを使いながら、肉眼で不純物を時間を掛けて取り除いていきます。不純物を取り除いた卵を塩漬け、熟成、瓶詰などの工程を全て手作業により丁寧に行われます。それはまるで繊細なガラス細工を扱うように熟練の技により行われるのであります。

機械に頼れない素材や工程だからこそ大量生産が難しいのもキャビアが最高級の食材であり、高価になる理由なのです。

皆さんは、贈り物を選ぶ際にはどんな事を基準に商品を決めますか?

「〇〇〇さんは、△△△がすきだから」「日頃からよく使う物が嬉しいのでは」「無難に、この価格の商品なら」

と、それぞれに考え方があることでしょう。贈り物に関する専門家の先生に伺うと、“喜ばれるギフトの3ヶ条”なるものがあるそうです。

【喜ばれるギフトの3ヶ条】

- ①上質で、自分では買わないであろうという商品を選ぶ
 - ②量よりも質を重視した商品を選ぶ
 - ③食材や消耗品のような無くなる商品を選ぶ
- ①上質で、自分では買わないであろうという商品を選ぶ自分では買えるけれど、思い付きもないような物で、しかもそれが洒落た高級品などはギフトに最適です。

②量よりも質を重視した商品を選ぶ見た目の大さで豪華さを演出することも決して間違ではないのですが、大きなパッケージに様々な種類の商品が詰め合わされているギフトよりも、たとえコンパクトなパッケージでも、そこに高級食材であるキャビアが入っていれば贈られた

先様から、気が利いていると思われるでしょう。

③食材や消耗品のような無くなる商品を選ぶ
飾り物のような残る物、場所を必要とする物、
重い物、身につける物などは避けた方が無難で
あり、何よりも先様に面倒をかけないことが大
切です。食材や消耗品ならば面倒もかかりませ
んし、場所も必要としません。

ご自分が好きな物や、美味しいくて感動した物
を先様にも伝えたい。それが基本なのではない
でしょうか。

ご自分が食べて感動したキャビアを、先様に
も同じ感動を味わっていただく。感動から感激。
そして感謝へと続く。

caviar_PRINCESS TOYOTAMA を最良のコ
ミュニケーション・ツールとして是非ともご利用
くださいませ。